

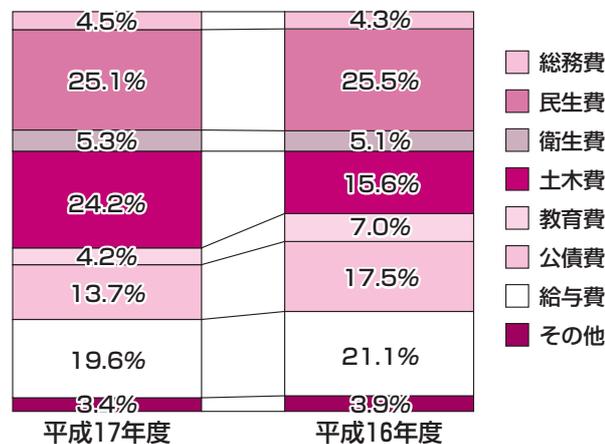
【表5】平成17年度決算の歳出内訳（前年度比較）

費目	平成17年度	平成16年度	増減
総務費	10.0億円	9.3億円	0.6億円
民生費	55.3億円	55.4億円	△0.1億円
衛生費	11.6億円	11.2億円	0.4億円
商工費	3.1億円	3.4億円	△0.3億円
土木費	53.3億円	33.8億円	19.5億円
消防費	1.1億円	1.1億円	0億円
教育費	9.3億円	15.3億円	△6.0億円
公債費	30.2億円	38.0億円	△7.8億円
給与費	43.2億円	45.9億円	△2.7億円
その他	3.3億円	4.1億円	△0.8億円
合計	220.4億円	217.5億円	2.9億円

※その他には、議会費、労働費、農林水産業費、災害復旧費が含まれています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。

【グラフ4】一般会計歳出全体に占める割合



財政用語解説③

- 【議会費】 議会の活動に使われる費用。
- 【総務費】 全般的な管理事務、徴税、選挙、財務事務などに要する費用。
- 【民生費】 市民の生活と社会生活の保障（社会福祉など）に使われる費用。
- 【衛生費】 病気の予防やごみの処理など、市民が健康で衛生的な生活を送るために使われる費用。
- 【労働費】 職業訓練の充実や失業対策などに使われる費用。
- 【農林水産業費】 農業や漁業、林業の振興に使われる費用。
- 【商工費】 商業や工業の振興、観光事業などに使われる費用。
- 【土木費】 道路や公園の整備、市営住宅の建設などに使われる費用。
- 【消防費】 消火活動や救急救命などに使われる費用。
- 【教育費】 小・中学校や幼稚園の運営、学校建設など、教育のために使われる費用。
- 【公債費】 道路や学校などを造るために借り入れたお金の返済に充てる費用。
- 【給与費】 人件費などに要する費用。

歳出の決算内容を見てみましょう
 【表5】 【グラフ4】参照。
 総務費では、新しい事業として災害予想区域図（ハザードマップ）や市民便利帳を作成したほか、市民参

歳出の内容

する場合に認められる長期の借入金
 のことです。
 平成17年度と平成16年度を比較すると、約15億2千万円減少していますが、これは平成16年度に市債（減税補てん債）の借り換え分8億6千850万円があったことや、臨時財政対策債が1億8千100万円減少したこと、さらに建設事業の減少などが要因として挙げられます。

また、昨年7月に開所した新しい
 登別保育所と私立幼稚園による幼保一元化モデル事業を円滑に進めるための建屋接続工事や、養護老人ホーム恵寿園の暖房設備整備工事、旧登別温泉保育所・旧登別保育所の解体などを行いました。
 土木費では、市営住宅（幌別東団

画による総合計画第2期基本計画の策定、総合防災訓練などを行いました。
 民生費では、新たに富士保育所で休日保育を、登別保育所で一時保育を開始。心身の機能の維持・回復を図る地域参加型機能訓練では、対象者と対象区域を拡大するとともに、高齢者の筋力向上トレーニング事業を行いました。

教育費では、幌別西小学校校舎や
 登別中学校暖房設備、登別市青少年会館の整備などを行いました。前年度との比較では、平成16年度に若草小学校大規模改造事業と市民プール建設工事が終了したことなどから、約6億円減少しました。

地）建て替えや幌別鉄南地区海浜地緑化事業、公共施設のアダプトプログラム（のぼりべつ・クリーン&フレッシュン事業）などに取り組みました。前年度との比較では、平成16年度予算から市営住宅（幌別東団地）建替事業と北海道から受託した道道倶多楽湖公園線登別温泉通改良事業が平成17年度に繰り越されたことなどから、約19億5千万円増加しました。